

住ま

*: ホームシアター

「将来の夢は、ホームシアターのある家に住むことです！」と目を輝かせている夫婦がいた。妻はピアノ、夫はエレキとアコースティックギターを弾く音楽好き一家である。いまは賃貸に住む彼らには、防音室を作ることなどできない。

さらに、映画も大好きな2人は、いつかきつとホームシアターを―と思っているのだ。

ホームシアターを作るには、いくらかかるのだろうか？ 映画館と同じサラウンドの、右からも左からも、そして後ろからも音が回り込んでくる部屋（いへり

Let's リフォーム

西田恭子

正面に110センチのスクリーンが降りてくると、感動の声をもらす人もいる（東京都港区の東京ミッドタウンのモデルルーム）

には、ざっと250万〜300万円をかける必要がある。りそうだ。

金額を聞いたら二の足を踏むだろうか？と思いがらその額について説明すると、若い夫婦は意外に安いという顔をした。車を買うか、ホームシアターを作るかという選択肢の問題ですむ金額に、ホッとしたような表情さえ浮かべていた。まだ10年以上、あるいはも

わが家にプラスアルファの魅力



人によって違う価値観の領域だ。車よりももっとほしいものがある人もいるのである。テレビがどんな大型化している状況下では、スクリーンの映像を選ばなければ100センチ以上ほしいだろう。

つと先になりそうな夢の現実だが…。何に費用をかけるのかは、110センチのスクリーンが電動で下りてくる。プロ

シエクターは、吊り戸棚に内蔵されていて、蓋を引き上げると出現するタイプになっている。壁素材などの内装こそ完全なホームシアター仕様ではないものの、訪れる人たちは、スクリーンが電動で下りてくるのを見ながら「オッ、これはいね」と思わずつぶやくことが多い。

1人でもよし、夫婦でも家族でも楽しめるホームシアター。そして、近所との集いの場になる可能性もあり、来客との話題にも事欠かないだろう。わが家にプラスアルファの要素を入れるのに、ホームシアターは非常に魅力的といえよう。

（三井のリフォーム 住生活研究所所長、1級建築士）